

別紙No. 1

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人もみの木福祉会

社会福祉法人もみの木福祉会
令和 7 年度事業報告

1. 法人の運営

(1) 理事会の開催

理事会名および開催日	出席状況	議 題
第 231 回 令和 7 年 6 月 13 日	6 名、監事	第 1 号議案 令和 6 年度事業報告 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告 --監査報告-- 第 3 号議案 理事及び監事の推薦 第 4 号議案 評議員の推薦 第 5 号議案 業務執行報告
第 232 回 令和 7 年 6 月 30 日	6 名、監事	第 1 号議案 理事長の選出及び業務執行理事の選任
第 233 回 令和 7 年 9 月 17 日	6 名、監事	第 1 号議案 諸規程の一部改正 第 2 号議案 評議員選任・解任委員の辞任及び 新評議員選任・解任委員の選任 第 3 号議案 業務執行報告
第 234 回 令和 7 年 12 月 15 日	6 名、監事	第 1 号議案 業務執行報告
第 235 回 令和 8 年 3 月 17 日	6 名、監事	第 1 号議案 令和8年度事業計画案 第 2 号議案 令和8年度収支予算案 第 3 号議案 業務執行報告

(2) 監査の実施

実施者	監査事業及び実施日	指摘及び改善事業
法人監事	法人全体 令和 7 年 6 月 13 日	なし

(3) 評議員選任解任委員会の開催

実施日	実施者	説明者
令和 7 年 6 月 17 日	吉持武平、亀井紀成、片平一樹	足立修栄

(4) 評議員会の開催

評議員会名および開催日	出席状況	議 題
第 59 回 令和 7 年 6 月 30 日	6 名	第 1 号議案 令和 6 年度事業報告 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告 --監査報告-- 第 3 号議案 理事の選任 第 4 号議案 監事の選任 報告事項① 評議員選任・解任委員の選任報告 報告事項② 新評議員の選任報告
第 60 回 令和 8 年 3 月 24 日	5 名	第 1 号議案 令和8年度事業計画案 第 2 号議案 令和8年度収支予算案

2. 運営管理の状況

(1) 障害者総合支援法等に基づくサービス事業の実施

サービス事業	事業所名	利用定員	常勤職員数	パート職員数	延べ利用人数
生活介護事業	もみの木園	60 名	51 名	3 名	17,474 人 前年 17,863
	支援センター のぞみ	20 名	14 名	4 名	4,403 人 前年 4,607

サービス事業	事業所名	利用定員	常勤職員数	パート職員数	延べ利用人数
就労継続支援 B型	もみの木作業所	40名	13名	4名	11,977人 前年 12,418
居宅介護	支援センター のぞみ	—	3名		300人 前年 267
行動援護		—			1,105人 前年 1,027
重度訪問介護					10人 前年 5
日中一時支援	支援センター のぞみ	—	1名		2,754人 前年 2,790
移動支援 ※休止中					0人 前年 0
相談支援	支援センター 和おん	—	3名		802件 前年 840
短期入所		2名	兼務		1,224人 前年 1,016
入所支援	もみの木園	55名	生活介護兼務 夜勤3名		17,845人 前年 18,459
短期入所		2名			1,046人 前年 904
共同生活援助	つどい・ひなぎく よみ・あすか あさがお・すばる かなで・さくら 和おん 市内9か所	49名 内訳 (包括) 36名 (日中) 13名	16名 (包括日中兼務) 夜勤2名	4名 世話人 20名	16,782人 前年 16,925 内訳 (包括) 12,252人 (日中) 4,530人

(2) 職員関係

- ①新規採用者 1名
- ②中途退職者 4名
- ③中途採用者 11名
- ④年度末退職者 4名
- ⑤パート職員 採用6名 退職1名

(3) 職員研修

サービスの質の向上を図るため、次の主な研修に参加した。

[OFFJT]

- ① サービス管理責任者研修（サービス事業における責任者・必配置）[実践：1名]
- ② 虐待防止研修 [担当者コース：6名]
- ③ 強度行動障がい支援者養成研修 [基礎：5名、実践：5名、専門：1名]
- ④ 相談支援従事者初任者研修 [専門員：1名]

⑤ 中核的人材養成研修－1 名

その他スキルアップのための研修 5 件

[OJT]

研修名称	実施日	場所	講 師	参加者数
虐待防止研修	11/18, 11/21	会議室	虐待・身体拘束において知っておくべきこと (権利擁護委員：吉田)	22 名 入職 5 年未満
身体拘束の適正化研修	12/10, 12/15	作業所 食堂	身体拘束の適正化について (権利擁護委員：西尾、川端、山本直)	74 名
虐待防止研修	1/14, 1/19	作業所 食堂	グループワークを通して考える虐待防止研修 (権利擁護委員：足立由、清水、山田)	86 名
虐待防止研修	2/14	みなと テラス	保科華氏、桑原さやか氏(国立のぞみの園)	57 名
権利擁護研修	3/23, 3/24 , 3/25	会議室	フォローアップ研修(虐待防止、身体拘束適正化) (権利擁護委員：吉田)	105 名 非常勤職員
交通安全研修	12 月(5 回)	会議室 ほか	安全運転管理者(森田・高濱)	121 名
救急救命講習	6 月(2 回)	会議室	西部消防局講師	20 名

(4) 支援拠点実績報告

- ア もみの木園
- イ グループホーム
- ウ 支援センターのぞみ
- エ もみの木作業所

別紙各部実績報告書のとおり

3. 経営管理の状況

①財務状況・・別紙決算書のとおり

②保健・食生活事業報告・・別紙

③整備・修繕実績

(千円)

整備名称	整備費	補助金	付 記
もみの木園居住棟共用部防犯カメラ移設工事	319		寿通信工業(有)
もみの木園グランド 職員駐車場整地工事	500		Brave 坂田
もみの木園体育館外壁修繕工事	106	106	高野板金工業(保険適用：自然災害)
もみの木園男子棟建具作業	190		久大建材(株)
もみの木園男子棟片引き戸交換	176		久大建材(株)
もみの木園吸収式冷温水発生機修繕工事	308		三和商事(株)
もみの木園空調機炉内洗浄・ファンコイル交換	264		三和商事(株)
もみの木園浄化槽制御盤タッチパネル交換工事	132		大成工業(株)
もみの木園男子棟畳取替	633		(株)インテリアセオ
もみの木園女子棟ガス衣類乾燥機修理	305		(株)トンボ

整備名称	整備費	補助金	付 記
GH かなで洗濯機給排水工事	143		エディオンみのかや
もみの木作業所食堂フローリング 張替工事	770		久大建材(株)
もみの木作業所作業場床修繕工事	275		久大建材(株)
のぞみ厨房配膳カウンター引戸設置工事	253		久大建材(株)
のぞみ公用車17買替購入	2,760		(有)ヤクラ自動車
和おん相談支援用車両4台 買替購入	539	500	(有)中田自動車 (後援: のぞみの会)
もみの木園男子棟洗濯機	109		エディオンみのかや
もみの木園女子棟防犯カメラ設置工事	308		寿通信工業(有)
もみの木園事務用ノートパソコン1台	105		デル・テクノロジーズ(株)
もみの木作業所ノートパソコン3台	315		デル・テクノロジーズ(株)
和おん相談用ノートパソコン1台	105		デル・テクノロジーズ(株)
のぞみノートパソコン1台	105		デル・テクノロジーズ(株)
のぞみ介護浴槽及び搬送車入替(老朽化)	6,091	4,568	鳥取医療機器(株) (助成金: J K A)

④その他

■権利擁護委員会(旧: 苦情要望虐待防止) [年12回開催] - 別紙報告 -

- 一年 件(前年15件)の苦情、要望 ⇒各部での検討会実施
- 虐待防止研修、身体拘束適正化研修等の企画実施
- 各部署毎のロールプレイ研修等の企画実施、業務振返りシートの継続

■リスクマネジメント委員会 [年12回開催] - 別紙報告 -

- ーR3年度184件 R4年度171件 R5年度146件 R6年度112件 R7年度112件
- ーヒヤリハットの検証を各部署・職員へ反映

■ストレスチェックの実施 ※()内は前年度

- ー対象者109人(126) 未提出者31人(26) 提出率: 71.6%(79.4)
- ー高ストレス者10人(11) →うち、産業医面接1人(0)、管理者面談0人(0)

4. その他事業

①あいサポートとっとりフォーラム26の共催

■NPO法人あかり広場と共催し、県内の福祉関係者で組織した実行委員会形式で、全国的にも有数な福祉フォーラムを開催

- ・令和8年1月10日、11日
- ・米子コンベンションセンター 国際会議室ほか
- ・参加者: 255名
- ・石破前内閣総理大臣、赤沢経済産業大臣
- ・伊木米子市長、廣江研こうほうえん会長
- ・厚生労働省: 伊原和人厚生労働省事務次官ほか

令和7年度 年間保健事業報告

もみの木福祉会

月	保健事業
4	・新年度救急個人カード作成・各部署に配布
5	・ストレスチェック予定作成 実施開始
6	・職員救急法 20 名 ・職員生活習慣病予防健診 (6月～) 80名
7	・米子市特定健診等 山口外科実施分(11月までかけて実施) 20名
8	
9	・総合健診 鳥取県保健事業団(2日間) 園利用者:51名 夜勤勤務者健診:8名
10	
11	・インフルエンザワクチン予防接種 職員・利用者 238名 ・コロナワクチン予防接種 65歳以上希望利用者 22名
12	・年末年始関連の準備
1	・市健診結果による精密検査
2	・総合健診 鳥取県保健事業団(4日間) 利用者:137名 職員 17名 夜勤勤務者 27名
3	・総合健診結果について嘱託医との所見整理と再検査、家族への説明、報告の実施 ・年度末評価と新年度計画 ・新年度保健体制の確立
毎月の事業 ・往診:山口先生2回/月、木下先生1～2回/月、岡田先生1回/月、しみず先生1回/2ヶ月、みやじ歯科 不定期、吉岡先生巡回 1回/月 翌日の処方受け(薬局との調整) ・歯科受診:歯科センター(木曜午後、随時)みやじ歯科(随時) ・グループホーム巡回 1回/月 ・体重、バイタルサインチェック 1回/月 ・感染予防 ・検便(保菌 大腸菌)毎月第1週目水～金曜日 ・利用者カンファレンス開催 ・希望者のフットケア実施 ・自立支援医療受給者証・保険証等の更新手続き	

H30年度より歯科健診は実施していません。

令和7年度事業報告

管理部食生活課

【特別食】

食事の種類	熱量	塩分	令和5年	令和6年	令和7年
減塩食	1, 600kcal	5g以下	36名	35名	29名
減量食 (糖尿食含む)	1, 200kcal	7～10g以下	10名	9名	8名
透析食	約1, 600kcal	5g以下	1名	1名	1名
ミキサー食	約1, 500kcal	7g以下	3名	3名	3名
常食(普通食)	1, 800kcal	7～10g以下			

※透析食については塩分制限・蛋白制限・カリウム制限の為、肉・魚・大豆製品・卵はすべて半量、果物・野菜は加熱が必要（ドライフルーツは禁止）※水分制限あり

【利用者個々に気をつけていること】※普通食の利用者の方全員一口大刻みで提供

年度別	超刻み	刻み	骨とり	揚げ物禁止	アレルギー食品除去
令和5年	12名	19名	骨なしを使用	36名	9名
令和6年	19名	15名	骨なしを使用	35名	9名
令和7年	19名	14名	骨なしを使用	27名	9名

【一日の平均食数】

施設名	朝食	昼食	夕食	注意事項
もみの木園	49名	約100名	49名	周りの状況にあわせて時間差で提供
もみの木作業所		約47名		個々に合わせた食事形態での提供
ほっと茶町		約9名		弁当でも食べやすい食材の提供
グループホーム さくら		7名		嚥下に注意（個々に合わせた刻み）
グループホーム 和おん		6名		嚥下に注意（個々に合わせた刻み・とろみ・お茶ゼリーを使用）
支援センター のぞみ		約32名		できるだけ温かい食事提供 個々に合わせた食事形態

※全施設衛生管理・異物混入に注意している

＜年間を通しての行事＞

5月：開園記念日会食（昼食をお祝い膳で提供）、

8月：夏祭り（園：昼食を夏祭り風にして提供、綿菓子、アイスクリーム）

10月：もみの木祭り（幕の内弁当を提供）

★もみの木園・・・男女利用者、魚国（委託先）、支援員、栄養士で話し合い、和おんは第一金曜日、さくらは第二金曜日に話し合いをし、献立を掲示・配布。月1回水曜日は選択メニュー

★もみの木園食堂、もみの木作業所、年2回害虫の駆除を行っている。

★もみの木作業所・・・職員・栄養士で話し合いをし、第二木曜日は誕生会、第四水曜日は選択メニューをしている。二週に一回献立を掲示・配布

ほっと茶町のお弁当を作って配達している。

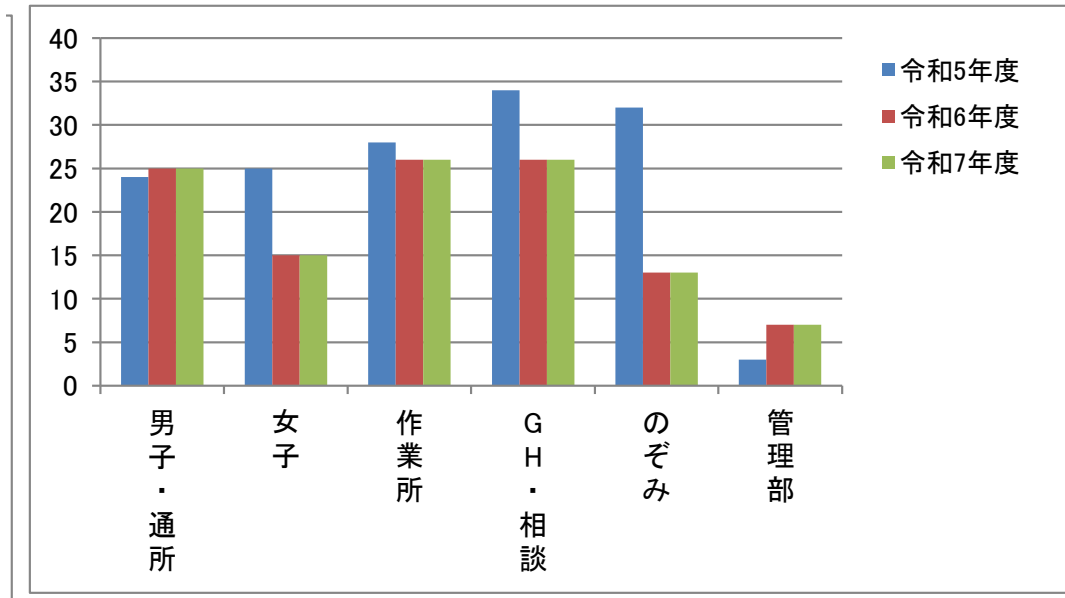
★支援センターのぞみ・・・月曜日～金曜日まで魚国の食事

令和7年度リスクマネジメントまとめ

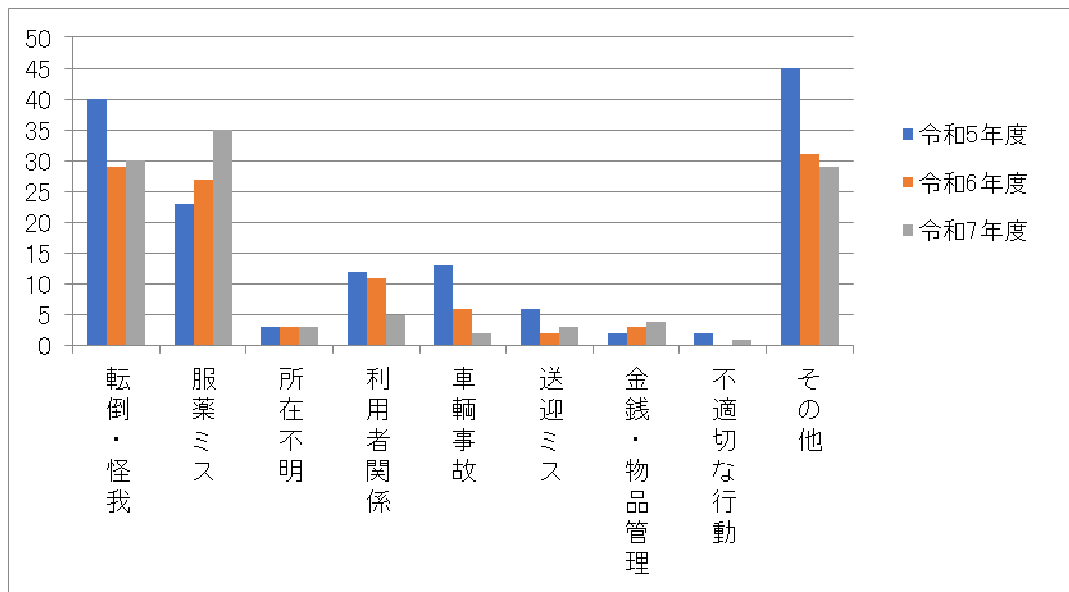
【法人全体】

報告件数： R5 年度 146 件 R6 年度 112 件 R7 年度 112 件

部署別



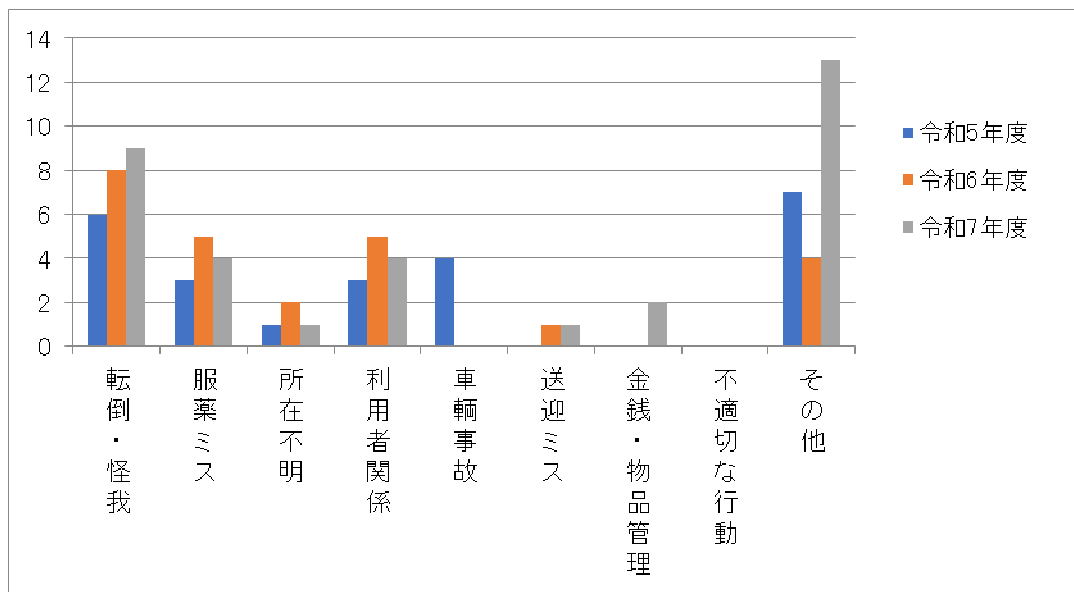
【内訳】



【ポイント】

- 報告件数は、前年度と一緒（増えればダメ、減れば良いというばかりではない）
- 服薬ミスが増えている→人為的ミスの側面が強いので、限りなく減らせる事は可能。
- 車両事故が減っている→このまま続けていきましょう。
- 各部署で、リスクの種類は異なる。

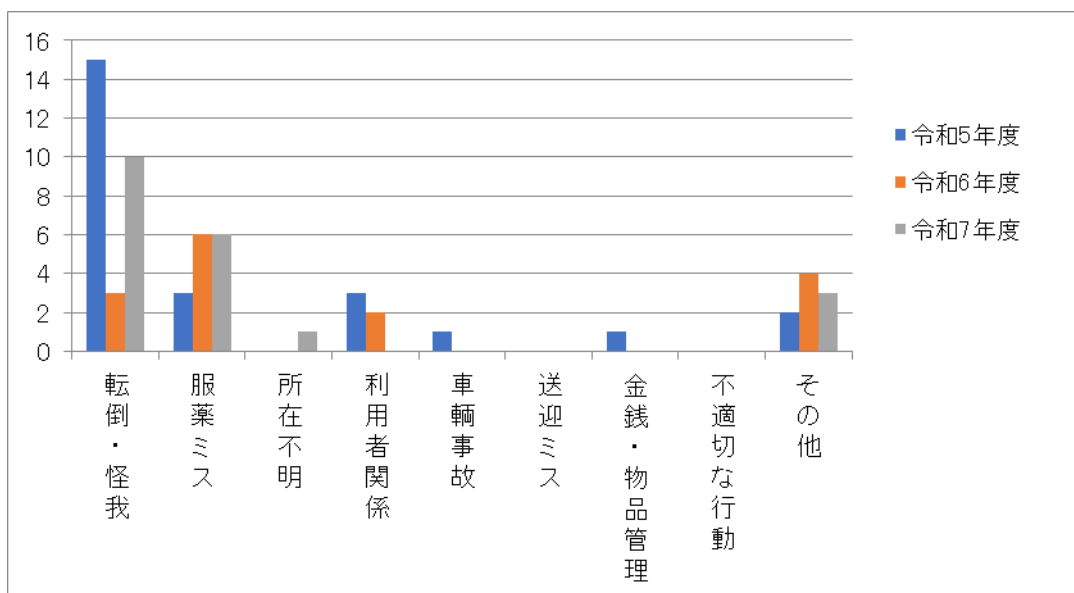
【男子・通所・働生介】 報告件数 R5 年度 24 件 R6 年度 25 件 R7 年度 32 件



【ポイント】

- 転倒・怪我が増えている→高齢化に対応していきましょう。
- その他→1つ1つ案件を検証し、次に活かしていきましょう。

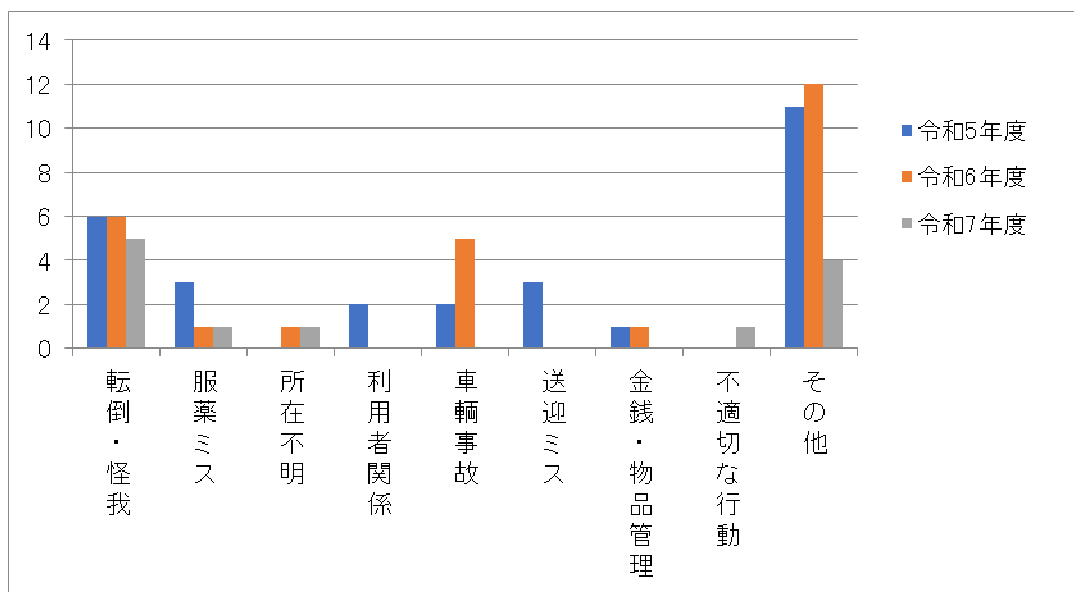
【女子】 報告件数 : R5 年度 25 件 R6 年度 15 件 R7 年度 20 件



【ポイント】

- 転倒・怪我が増えている→高齢化に対応していきましょう。

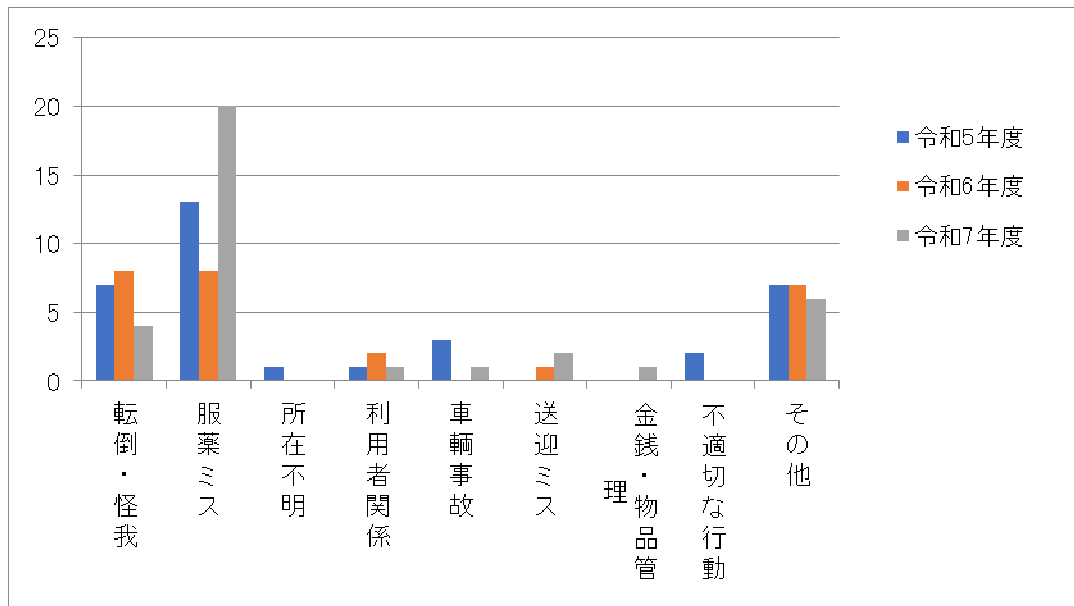
【作業所】 報告件数： R5 年度 28 件 R6 年度 26 件 R7 年度 12 件



【ポイント】

- 車両事故・送迎ミスがない→このまま続けていきましょう。
- 服薬ミス→昼食のみなので、0を目指しましょう。

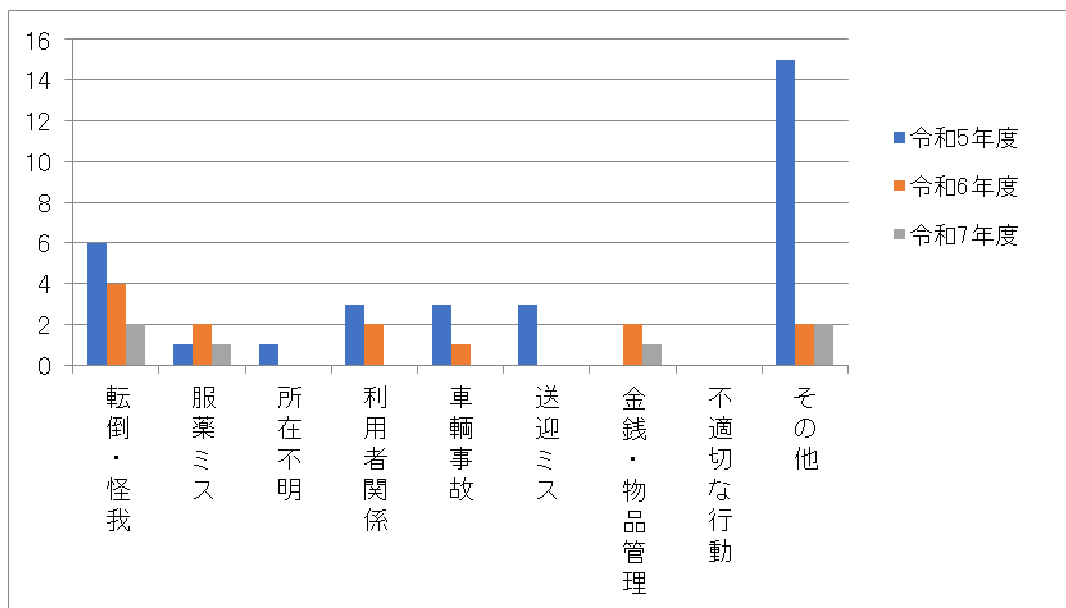
【さくら・和おん・GH】 報告件数： R5 年度 3 件 R6 年度 26 件 R7 年度 38 件



【ポイント】

- 服薬ミス→帰省時の確認・世話人さんとの連携を図っていきましょう。

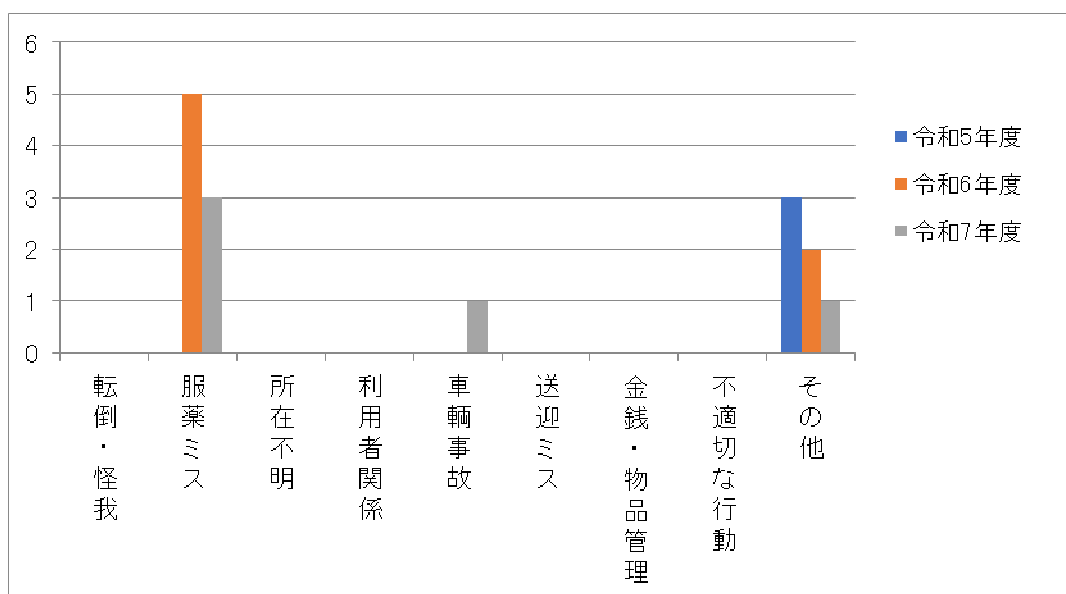
【のぞみ】 報告件数： R5 年度 32 件 R6 年度 13 件 R7 年度 6 件



【ポイント】

- 全体的に件数が減っているので、このまま続けていきましょう。

【管理部】 報告件数： R5 年度 3 件 R6 年度 7 件 R7 年度 4 件

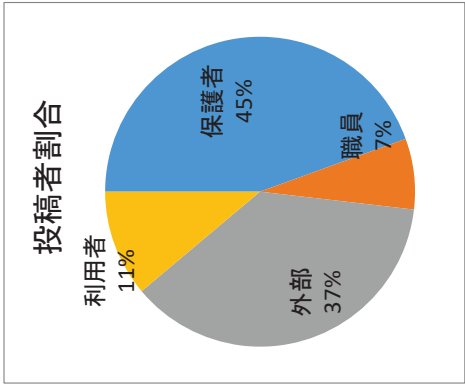


【ポイント】

- 全体の件数は少ないですが、服薬ミスがあるので0を目指しましょう。

2025年度苦情・要望に関する統計データ

投稿者	件数	前年件数
保護者	12 件	7 件
職員	2 件	2 件
外部	10 件	5 件
利用者	3 件	1 件
計	27 件	15 件



- 2025年度苦情・要望に関する統計データについて -

寄せられた案件につきましては、苦情要望・虐待防止委員会等の各会議の場で内容を検討し、法人全体へフィードバックを行う事で再発防止と周知徹底を図っています。

2025年度の集計結果では、保護者様からの投稿割合が最も多く、次いで外部機関からのご意見が多い結果となりました。内容としては、「利用者様への支援」「保護者様への説明不足・連絡ミス」「確認・管理ミス」に関する案件が増加しており、支援技術だけではなく、職員間の情報共有や説明の仕方、対応方法が課題として表れる結果となりました。

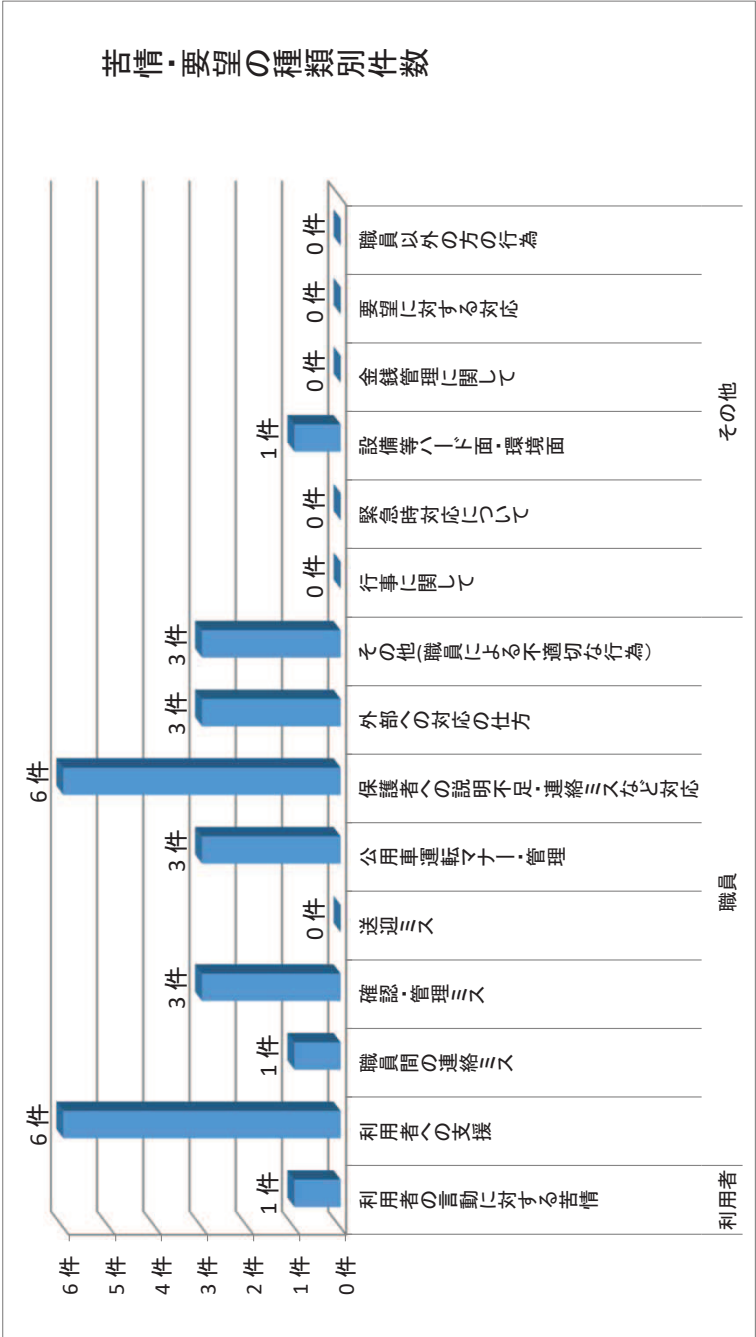
また、公用車運転マナーや外部への対応に関する案件も依然として寄せられており、地域や関係機関から見られている意識を持ち、日頃から丁寧な対応を行う必要性を再認識する結果となっています。

一方で、緊急時対応や金銭管理に関する案件はなく、大きな事故や重大な権利侵害に繋がる案件が発生しなかったことは、日々の確認体制や職員の意識づけの成果であると考えられます。しかしながら、案件内容を確認すると、説明不足や確認不足、配慮不足など未然に防ぐことのできる内容も多く見られました。

虐待防止・権利擁護の観点においては、自身では適切な支援だと思っけていても、利用者様や周囲から見ると不適切な関わりや配慮不足と受け取られてしまう場合があることを理解しなければなりません。振り返りチェックシートや職員間での意見交換・情報共有を通して、「なぜその支援を行うのか」「利用者様にとって適切な支援となっているか」を確認し合うことが重要であると考えます。

今後利用者様に寄り添った支援、保護者様や関係機関への丁寧な説明・対応を心掛け、より安心して利用していただけるサービス提供に繋げていきたいと考えます。

対象者	苦情・要望内容	件数	前年件数
利用者	利用者の言動に対する苦情	1 件	0 件
	利用者への支援	6 件	4 件
	職員間の連絡ミス	1 件	0 件
	確認・管理ミス	3 件	0 件
	送迎ミス	0 件	1 件
	公用車運転マナー・管理	3 件	2 件
	保護者への説明不足・連絡ミスなど対応	6 件	3 件
	外部への対応の仕方	3 件	2 件
	その他(職員による不適切な行為)	3 件	1 件
	行事に関して	0 件	0 件
その他	緊急時対応について	0 件	0 件
	設備等ハード面・環境面	1 件	0 件
	金銭管理に関して	0 件	0 件
	要望に対する対応	0 件	1 件
	職員以外の方の行為	0 件	0 件
		0 件	0 件



社会福祉法人 もみの木福祉会 障がい者支援施設 【もみの木園】
令和7年度事業報告

提供サービス

事業	定員	利用者数	備考
施設入所支援	55名	年間延 17,845人	契約者51名
生活介護（日中支援）	60名	年間延 17,474人	契約者78名
短期入所	2名	年間延 1,046人	契約者55名

事業概要

令和7年度は、利用者のQOLの向上をテーマに、日中活動はもちろん、もみの木祭り・日帰り旅行・イベント等、コロナ禍以前の活動に戻るよう取り組んでまいりました。しかしながら、当施設においても10月にコロナのクラスターが発生し、もみの木祭りを中止とさせて頂きました。2月には感染性胃腸炎のクラスターが発生しました。

ただ最大限の対策をした上で外出の機会も徐々にではありますが増えてきています。引き続き利用者の潤いある生活を実現するために、意思形成、意思表示の支援に力を入れていきたい。

1. 安心安全で豊かな施設生活の実現

- 前年度同様、重度・高齢化対策を喫緊の課題として取り組みましたが、利用者の身体機能低下スピードが著しく、転倒等による怪我、基礎疾患の重症化が多く見られました。これまでも必要な場所への動線の見直しや支援スキルの向上等により対応を図ってまいりましたが、老朽化した現施設の環境では限界もあるため、新たな施設整備に向けて「もみの木福祉会建設委員会」を中心に協議を進めています。現在女子棟の環境調整を『鳥取県強度行動障がい児者環境整備事業』を申請し実施しております。
- 医療機関、医務との連携により、感染予防、疾病の早期発見に努めましたが、加齢からくる新たな疾病の発症や基礎疾患の重症化等により、男性5名・女性5名（延べ10人）の入院、救急対応等がありました。今後このような状況が予測される中で、支援現場と医務との連携をより綿密なものとするため『医療連携委員会』を組織し、救急搬送マニュアルの見直し、看護師の支援参加の可能性等を協議、モニタリングしていきます。（月1回）
- 新型コロナウイルスの分類見直し以降、当施設におきましても感染対策は継続しつつ、もみの木祭り・日帰り旅行・イベントの再開等、少しずつではありますが以前の活動に戻るよう取り組んでまいりました。また、地域の課題でもある強度行動障害に対応するため、環境調整、研修会への参加・講師派遣等により、利用者の安心安全に加え、職員のスキルアップにも繋がっています。
- ボランティア、実習、視察等については、受入を積極的に行いました。このことは利用者、職員皆が地域に支えられていることを実感できたと同時に、社会福祉法人の責任の重さを改めて認識することに繋がりました。それに加えボランティア、実習で当福祉会に来られた方が、将来福祉人材になっていただけるよう今後も力を入れていきたい。

2. 地域との関係づくり

- 社会福祉法人の責務である「公益的な取組」をアート活動を主体として取り組みました。実績としては、幼稚園との合同作品作り、他施設との合同作品展、県認定アートギャラリー。また、7年度より義務化された地域連携推進会議も実施し、地域に開かれた入所施設を目標に取り組みしました。

3. 人材育成と働きやすい職場づくり

- 各種研修への派遣、自己研鑽の機会の提供についてはリモート・集合での参加により継続して取り組みました。人材育成・当法人の役割として、各種研修会（「サービス管理責任者研修」「強度行動障害者支援専門研修」「中核的支援人材養成研修」「相談支援従業者研修」「障害種別研修」「障がい者虐待防止研修」「その他研修会」等）への参加・講師の派遣を行いました。また、働きやすい職場づくりについては、仕事と私生活両面に配慮し、有給休暇取得の勧奨や役職者による面談を実施することで個々の意見を業務に取り入れることができました。

事業別利用状況

【施設入所支援：定員55名】

令和7年4月時点で男性34名、女性17名の合計51名の利用者と事業開始。

- ・退所（4名）：5、9、3月～女性3名(逝去)、3月～女性1名（転院）
- ・新規受入（3名）：7月～男性1名、3月～女性2名
- ・入院者（9名）：男性5名（急性胃腸炎、誤嚥性肺炎、脱水、てんかん発作、胃潰瘍、廃用症候群）
女性4名（症候性てんかん、イレウス、誤嚥性肺炎、心不全の憎悪、糞便性イレウス）

◎令和7年3月時点、男性35名、女性17名の合計52名

夜間支援体制：男性職員2名・女性職員1名・看護師4名待機（輪番制）

2026年3月末現	平均年齢	平均障害支援区分	最高齢
男性	55.3歳	5.7	89歳
女性	65.1歳	5.7	90歳

(利用実績)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数	1,514	1,549	1,495	1,575	1,537	1,485	1,513	1,446	1,500	1,446	1,294	1,489	17,843
												前年度	18,459

【生活介護：定員60名】

契約利用者数：男性55名、女性26名の合計81名（通所部含む）

【新規受入（5名）：男性3名・女性2名】【退所（3名）：女性3名】

支援体制：サービス管理責任者2名・支援員42名・看護師4名・補助職員3名

職員配置：1.7：1

(利用実績)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
延利用者数	1,496	1,507	1,487	1,560	1,418	1,468	1,520	1,349	1,470	1,395	1,308	1,496	17,474
												前年度	17,863

活動及び支援内容

8:45	送迎	通所生活介護利用者送迎、待受け
9:00	準備	引継ぎ・バイタルチェック・ホームルーム
9:00	日中活動	体力作り(歩行・体操)・機能訓練(紙ちぎり・キャップ選別)・創作
11:30		生産活動(観葉植物リース)・レク活動(DVD鑑賞・音楽)・リハビリ対応・外出支援
11:30	昼食	食事要支援者介助・見守り
13:30	日中活動	体力作り(歩行・体操)・機能訓練(紙ちぎり・キャップ選別)・創作
15:00		生産活動(観葉植物リース)・レク活動(DVD鑑賞・音楽)・リハビリ対応・外出支援
15:00	入浴	入浴要支援者介助
16:00	片づけ	通所生活介護利用者、家族への連絡・引継ぎ
17:15	送迎	通所生活介護利用者送迎
体験旅行		日帰りを実施

【短期入所：定員2名】

相談支援専門員と連携を図り、在宅者の受入れを行う

(利用実績)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数	79	89	94	88	91	90	29	94	89	110	119	74	1,046
												前年度	904

サービスの点検と質の向上

【支援者会議等の検討状況】

会議名	開催回数	主な議題等
棟会議（男女）	1回/月	支援内容の点検・修正/活動・生活課題抽出/個別ケア検討
モニタリング会議	10回	個別支援計画作成に係る検討
業務振り返り検討会	2回	支援強化目標の設定
ユニット会議	1回/月	日中活動の検討及びユニット間の調整

リスクマネジメント

【事故内容】

事案	令和5年度	令和6年度	令和7年度
転倒・怪我	21	11	4
服薬ミス	6	11	11
利用者間トラブル	6	7	3
車両事故	5	0	0
配慮に欠ける支援	0	0	0
合 計	38	29	18

行事・実習・見学・ボランティア受入及び職員研修・会議実績

月	行事・実習・見学・ボランティア受入	職員研修・会議
4	かなでアート	新人職員研修
	障がい福祉施設利用体験支援事業	県知福協監事会・代議員会
		中国地区知的障害関係施設長会
5	かなでアート	中国地区親善球技大会実行委員会
	開園記念	県内親善球技大会体育部会
		県知福協施設長会
6	かなでアート	西部地区福祉セミナー
	鳥取短期大学保育実習（2名）	サービス管理責任者等基礎研修
	倉吉養護学校高等部・現場実習	もみの木福祉会監査・理事会・評議員選任解任委員会
7		県立米子養護学校運営協議会
		西部自立支援協議会 一般就労部会
		サービス管理責任者等基礎研修
8	かなでアート	相談支援専門員初任者研修
	ボランティア体験（2名）	県知福協施設長会
	鳥取県知的障がい関係施設親善球技大会	米子市社会福祉法人連絡会【役員会】
9		感染症対策委員会
		サービス管理責任者等更新研修
		西部自立支援協議会 運営委員会・入所部会
10	かなでアート	中四国知的障害関係職員研究協議会
	夜勤者健診	障がい者虐待防止等研修【共通基礎研修】
	夏祭り	中四国知的障害関係職員研究協議会
		米子市社会福祉法人連絡会総会
		意思決定支援と虐待防止に関する研修会
		障がい者雇用支援のための制度学習会
		相談支援専門員初任者研修
		米子市障がい者計画推進委員会
		サービス管理責任者等更新研修
		ジョブコーチ養成研修
		県知福協施設長会
		強度行動障がい支援者養成研修【専門・基礎研修】
		西部自支協入所部会
		相談支援専門員初任者研修
		県自立支援協議会 就労支援部会
		強度行動障がい支援者養成研修【専門・基礎研修】
		もみの木福祉会理事会
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【チームワーク-JOS】
		サービス管理責任者等指導者養成国研修（所沢）
		西部自立支援協議会 一般就労部会
		敬仁会館視察
		法人内研修：虐待防止研修
	かなでアート	強度行動障がい支援者養成研修【専門・実践研修】
	共に生きるアート展【KANSEI12】	出前県議会
		成年後見制度セミナー
		西部自立支援協議会 入所部会・運営委員会
		人材確保・定着セミナー
		障がい福祉サービス従業者研修 就労・介護分野

月	行事・実習・見学・ボランティア受入	職員研修・会議
11	介護現場実習（1名）	西部自立支援協議会 全員協議会
	鳥取県手をつなぐスポーツ祭り西部大会	鳥取県障がい福祉課との意見交換会
	インフルエンザ予防接種	西部自支協入所部会
	イエローレシート	県強行支援者養成研修【専門研修】
	地域連携推進会議	法人内虐待防止研修
	手をつなぐスポーツ祭り西部大会	強度行動障がいワーキングコア会議 障害のある方の就労支援を進める会
12	避難訓練	法人内研修：新人職員研修
	インフルエンザ予防接種	もみの木福祉会理事会
	モルモン教来園クリスマス会	交通安全研修
	通所クリスマス会	県強行支援者養成研修【専門研修】
	鳥取市社協職員施設見学	身体拘束適正化委員会
		地域定着支援に係る関係機関等連絡協議会 地域支援セミナー：意思決定支援 県知福協施設長会
1		あいサポートとっとりフォーラム26
		サービス管理責任者等実践研修
		就労アセスメント研修会
		救命講習
		米子市社会福祉法人連絡会役員会
		法人内研修：身体拘束 要介助高齢知的障がい者支援研修会 中国地区障害者支援施設部会職員研修会
2	米子幼稚園アート交流・作品展	米子市障がい者計画等推進委員会
	総合健診	西部自立支援協議会 正副会長会・運営委員会
	もみの木アート展	法人内研修：身体拘束適正化研修
		米子市社会福祉法人連絡会【研修会】
		知福協中国地区親善球技大会実行委員会
		鳥取就労支援フォーラム 教育・保育実習連絡会 県立米子養護学校運営協議会
3	避難訓練	ファシリテーター養成研修
		指定障害福祉サービス事業所等集団指導
		米子市養護学校卒業式
		権利擁護セミナー
		西部自立支援協議会 一般就労・権利擁護・入所部会
		救命講習 県立米子養護学校移行支援会議

社会福祉法人 もみの木福祉会 地域生活支援部

令和7年度 事業報告

1. 提供サービス事業

- 共同生活援助（日中サービス支援型：定員13名、介護サービス包括型：定員36名）
- 短期入所（和おん：1名、さくら：1名）
- 相談支援（計画相談、地域移行定着支援、委託相談【米子市、日吉津村】）

2. 事業別サービス提供状況

- 共同生活援助（日中サービス支援型：定員13名 和おん6名・さくら7名）
 - ・米子市、自立支援協議会に対して事業の実施状況報告書を提出
 - ・年間通じて利用者の転出入はあったが、ほぼ満室。
 - ・GH和おん：1室空き（2/10～3/31）⇒相談支援経由で緊急時の受け入れで代用
- 共同生活援助（介護サービス包括型：定員36名）
 - 男性ホーム
【GHあすか】4名定員満室
【GHかなで】8名定員（5月以降満室）
【GHつどい】4名定員満室
【GH よみ 】4名定員満室
 - 女性ホーム
【GHすばる 】8名定員満室
【GHひなぎく】4名定員（5月以降1室空き）
【GHあさがお】4名定員満室
 - ・高齢化に伴い、体力維持・足腰筋力の低下・認知面低下などの理由により、2Fへの階段昇降が厳しい状況。手摺使用の声掛けを徹底。《2F建てホーム：つどい・よみ・ひなぎく》
 - ・上記、他ホームへ入替え等あるが状況によった理解協力を頂いた（本人・保護者・後見人）
（近隣住民からの苦情1件、2Fへの階段問題2件）
 - ・世話人1名の退職、2名の採用
 - ・前年度は職員配置に関して体制加算を得られない月があったが、本年度は充足していた。
 - ・地域連携推進会議の実施：12月
⇒利用者・保護者・福祉関係者・行政・福祉経営等有識者・自治会住民等参加した会議を開催し
サービス内容の透明性確保、利用者の権利擁護、地域との交流促進を図った
 - ・地域生活支援拠点情報連携会議：11月
⇒市内登録事業所が行政・基幹型相談支援事業所・拠点コーディネーター等と連携して
住まいに関する相談や地域課題等を確認した
 - 《入院等》
誤嚥性肺炎：2名、ウイルス等感染症：1名、精神不安服薬調整：1名
 - 《コロナ等感染等》
9月男性1名、10月男性2名・女性3名、12月世話人1名 いずれも感染拡大なし
- 短期入所（和おん1名、さくら1名）
 - ・GH和おん：登録者：30名： 月28～31日の利用提供 ※新規登録・利用：3名
 - ・GHさくら：登録者：14名： 月15～20日の利用提供 ※新規登録・利用：4名
 - ・緊急時の受け入れは、予約をされていた利用者（ご家族）へ交代の協力を頂いて対応
 - ・随時、地域の相談員を通じて見学を受け入れた

- ・男女で利用率も高かったが、前年同様に利用回数が減ってきたことに対して残念との声多数。
- ・地域生活支援拠点事業所として、精神科病院等からの問い合わせ・親亡き後の暮らしについて相談協力を行った。

○ 相談支援

- ①計画相談：契約人数 令和7年4月240名 ～ 令和8年3月232名 年間通じて△8名
計画作成・モニタ【児童：26件（前年比△9件）】【成人：764件（+4件）】
- ②地域相談：地域移行支援： 3件、地域定着支援：0件
・計画作成する特定相談事業所・精神科病院の地域連携室・行政・基幹型相談支援との連携
- ③委託相談（米子市、日吉津村）
・複合的・複雑化した福祉課題を抱えるご家庭へのサポートを行政と連携して支援
・オブザーバーでエリア会議出席など、総合相談の地域エリア分けについて米子市と検討
・特定相談事業所のフォローアップなど
- ④相談：その他
・男性相談員1名交代（6月）、男性相談員1名配置増（7月末）、女性相談員1名交代（9月）
・障害支援区分 認定調査： 53件（前年比△22件）
・強度行動障害者のサービス調整会議、ワーキングコア会議の参加
・鳥取県発達障がい者支援センター：エールへ協力依頼したケース会議の開催（随時開催）

3. 設備改修、点検その他

- ・IHキッチン交換（和おん：7月）
- ・自動火災報知設備修理（GHかなで：9月）
- ・トイレ修繕（GHさくら：8月）
- ・消防用設備等定期点検：9 GH
（6～8月総合点検、12～2月機器点検、寿通信工業・米子報知器）
- ・相談：公用車：ミラ⇒ムーブ（10月）

4. 出張、研修参加他（共同生活援助・相談支援）

出張・研修名	場所	参加者
相談支援従事者初任者研修	未来中心他	受講：足立尚、助言者：清水
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	未来中心他	受講：山本智
強度行動障害支援者養成研修（実践）	未来中心他	〃
福祉事業所人材確保定着支援セミナー	はごろも苑	受講：松下、清水
経営協先進地視察	京都他	参加：松下
地域移行支援者フォローアップ研修	倉吉市	受講：足立尚、井原、清水
就労支援研修	倉吉市	受講：足立尚
知福協研究会他	松山市、東京他	管理者：松下

5. ボランティア・実習生受入れ状況

団体名	内容	人数
・ソーシャルワーク実習生の受入れなし（指導担当者不在の為）		

6. その他

会議実績	法人理事会・評議員会	管理者
	権利擁護委員会	委員：和おん1名、さくら1名
	リスクマネジメント委員会	委員：和おん1名、さくら1名
	世話人会議	毎月開催
	役職者別会議	管理者・課長・係長主任
	個別支援会議、ケア会議	半年毎、ケース会議（適時）
	法人内研修（虐待防止他）	全職員参加
	介護保険利用に係る会議	毎月：担当生活支援員
	支援センター連絡会	毎月：相談支援専門員
	相談支援の充実を図る連絡会	毎月：相談支援専門員
	精神保健福祉に係る事例検討会	年4回開催：相談支援専門員
	世話人・パート職員等へのサポート研修	権利擁護・虐待防止研修（11月、3月）

令和7年度 もみの木作業所事業実績報告

1. 事業別実施状況

【就労継続支援B型事業】

令和7年度は、作業所30名、ほっと茶町10名、合計40名定員で取り組んできた。令和6年度報酬改定により、月額平均工賃の算出方法が変更となり3年目を迎えたが、令和6年度まで取引があった企業からの取引停止等の収入減もあり、対前年(28,447円)に対して23,208円となり平均工賃が大幅に減少となった。

【利用率に関して】

令和7年度における開所日1日当たりの平均利用者数は46.4人となった。対前年比97.6%となり減少しているものの40名定員に対し116.1%で維持することが出来た。しかしながら、契約者数は年々減少傾向であり新規利用者獲得は継続して行っていく。

【高齢化に関して】

全国的に見ても、就労継続B型事業所の高齢化が進んでいる中、事業所においても年々高齢化が進んでいる。40～70歳代の方々の人数が半数以上を占めているが、利用者一人ひとりの作業能力に合わせた作業提供を行ってきた。

【就労選択支援モデル事業への参画に関して】

令和7年10月より、「就労選択支援」が開始され、鳥取県西部地区(米子市と連携)を中心とした、就労選択支援モデル事業に参画し、特別支援学校の生徒のアセスメントを行い、課題等を共有・報告を行った。

【訪問型職場適応援助者の実績について】

法定雇用率の引き上げに伴い、雇用側が障がいのある方々の雇用する義務が増加する中、ジョブコーチ支援の重要性も増してきている現状の中で、令和6年度より県独自の補助金額の増加もあり、前年度より増加することができた。特に精神障がいのある方の支援が非常に増加傾向である。また、フォローアップ期に入っていないながら、再支援の依頼も入る状況が見受けられている。

(1) 主たる作業科目

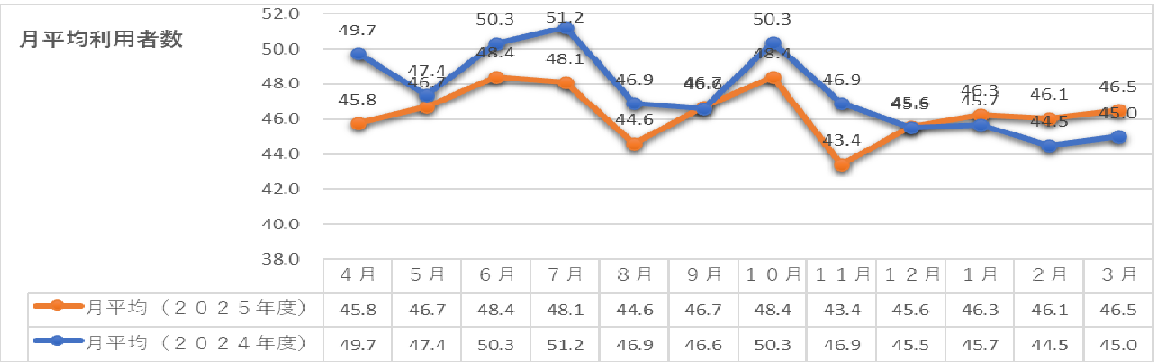
※()内金額:前年度

作業科目	相手先	実施期間	内容	2025年度実績
自主生産事業	もみの木作業所(茶町・のぞみ)	4～3月	給食提供	¥7,767,200
	各種バザー販売	4～3月	イベント出店(惣菜等)・各会合等弁当販売	(¥8,719,880)
受託事業	日宝製本、新日本海新聞	4～3月	入紙、ブックカバー掛け、新聞広告折り	(作) ¥6,549,361
	富士丸福、日の出紙業、瑞光明	4～3月	箱折り、ポンド付け	(¥7,658,052)
	松本油店、ひまわり工房	4～3月	油注入、シートテープ貼り	(茶) ¥2,875,353
	今井印刷、キサクリエイティブ	4～3月	封入れ	(¥3,039,336)
	PKC	4～3月	野菜洗浄・袋詰め	
	もみの木園食堂清掃	4～3月	午後食堂清掃	計 ¥9,424,714
	植田共栄、はしや	4～3月	青汁箱入れ、爪楊枝シール入れ	(¥9,196,788)
施設外就労事業	米子バイオマス発電合同会社	4～3月	清掃	¥605,000
				(¥2,178,000)
清掃・草刈り事業	心障センター、サンアビリティーズ	4～3月	フロア清掃、窓拭き、トイレ清掃、事務所清掃	¥7,414,820
	水鳥公園、フイデア、県・米子市関連 中海テレビ、個人宅等	4～3月	除草・刈り込み	(¥7,485,726)
作業収入合計				¥25,211,734
				(¥27,580,394)

(2) 平均利用率

利用者数

B型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ	1,007	1,028	1,065	1,106	892	1,028	1,113	912	1,003	925	875	1,023	11,977	998.1
開所日数	22	22	22	23	20	22	23	21	22	20	19	22	258	21.5
月平均	45.8	46.7	48.4	48.1	44.6	46.7	48.4	43.4	45.6	46.3	46.1	46.5	46.4	46.4
利用率	114.4%	116.8%	121.0%	120.2%	111.5%	116.8%	121.0%	108.6%	114.0%	115.6%	115.1%	116.3%	115.9%	116.1%
前年比	92.0%	98.6%	96.2%	93.9%	95.1%	100.2%	96.1%	92.6%	100.2%	101.2%	103.5%	103.3%	97.5%	97.6%



(3)利用者内訳(年代・性別) 契約者数57名(40歳代～70歳代までが圧倒的に多く高齢化が顕著である。)

もみの木作業所 ほっと茶町	全利用者			在宅			GH・入所		
	契約者数	平均年齢	最高年齢	契約者数	平均年齢	最高年齢	契約者数	平均年齢	最高年齢
男性	41名	45.8歳	80歳	31名	39.8歳	67歳	10名	64.3歳	80歳
女性	17名	51.6歳	72歳	11名	42.1歳	72歳	6名	69歳	72歳

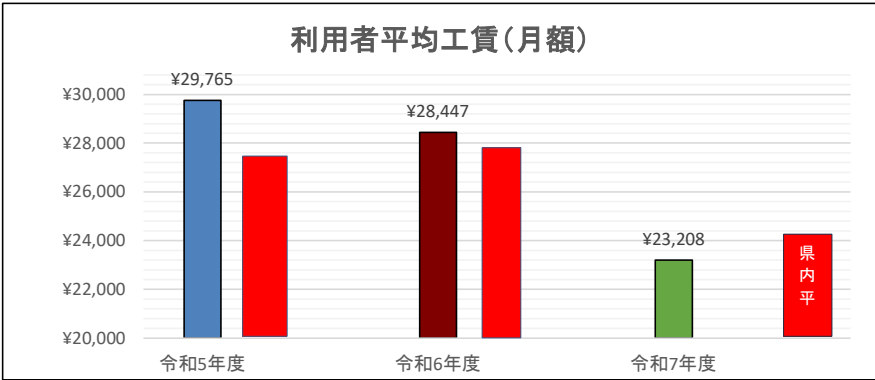
区分	年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
全体	男性	0人	9人	6人	10人	6人	5人	4人	1人
	女性	0人	3人	2人	3人	4人	5人	2人	0人
うち GH・入所	男性	0人	0人	1人	1人	1人	2人	4人	1人
	女性	0人	0人	0人	0人	0人	4人	2人	0人

(4)訪問型職場適応援助(ジョブコーチ)事業

2025年度16件 (2024年度18件)		ザ・ビッグ淀江店、養和病院、ワタキューセイモア、境港センター冷蔵、(株)中海テレビ、ウェルネス米原6丁目、さんびる(米子医療センター)、寿製菓、セイノー(再支援)、オニツカイノペーティブファクトリー、高島病院、皆生エスポワール、ミネベア・ミツミ、管公アパレル大山工場、株式会社ケイズ												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
訪問回数		20	16	22	19	11	15	12	12	12	18	18	19	
請求額	支援機構	¥342,000			¥999,000					¥769,500				
	(前年度)	¥378,000			¥967,000					¥666,000				
年間実績 (前年度)	¥2,110,500 (¥2,011,000)			県補助金 (前年度)	¥151,200×10名＝¥1,512,000 (¥151,200×10名＝¥1,512,000)					合計	¥3,622,500 (¥3,523,000)			

(5)利用者平均工賃(月額)

年度	平均月額	県内平均(参考)	全国平均(参考)
令和5年度	¥29,765	¥27,345	¥22,649
令和6年度	¥28,447	¥27,915	¥24,141
令和7年度	¥23,208		



令和7年度利用者増減内訳

【増加】	・新卒(養護学校)	0名	【減少】	・自己都合	3名
	・他事業所より	1名		・就労(一般・A型)	0名
	・その他	0名		・その他(生活介護)	1名

2. 研修・視察参加実績

月	研修名	場所
4月	知福協代理員会	県立福祉人材センター
	中国地区球技大会打合せ	西部やまと園
	刈払機作業従事者に対する安全衛生教育	伯耆しあわせの郷
	鳥取県社会就労センター協議会監事会・総会	県立福祉人材センター
	第54回中国地区知的障害関係施設長会議	岡山コンベンションセンター
5月	鳥取県知的障がい関係施設親善球技大会第1回体育部会	皆成学園
	中国・四国地区社会就労センター協議会役員会	愛媛県
	全国社会就労センター協議会第1回協議員総会	東京都
	鳥取県障がい者就労事業振興センター理事会	米子文化ホール
	鳥取県社会就労センター協議会総会	県立福祉人材センター
	鳥取県障がい者就労事業振興センター通常総会	西部総合事務所
	鳥取県知的障害者福祉協会第1回施設長会	白壁倶楽部
	鳥取県社会就労センター協議会第1回施設長会	倉吉体育文化会館
	鳥取県西部地区福祉セミナー	皆生養護学校
6月	新世紀政策研究会	東京都
	鳥取県相談支援従事者初任者研修	web
	令和8年度予算要望に關しての県との意見交換会	県立福祉人材センター
	鳥取県知的障がい関係施設親善球技大会第2回体育部会	ハワイアロハホール
	西部自立協福祉就労部会研修会	ヴィレステひえづ
7月	鳥取県相談支援従事者初任者研修	web
	鳥取県知的障がい関係施設親善球技大会	ハワイ夢広場周辺
	鳥取県社会福祉経営青年会総会・勉強会	米子商工会議所
	職場適応援助者養成研修	米子コンベンションセンター
	第64回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会	愛媛県
	就労支援事業「人づくり」研修管理者編	鳥取市民交流センター
	障がい者虐待防止等研修	web
	手をつなぐ育成会スポーツ祭り実行委員会	ふれあいの里
	JC支援事業推進協議会	倉吉未来中心
	日本の福祉を考える会	東京都
	DWATスキルアップ研修	倉吉体育文化会館
8月	職場適応援助者養成研修	米子コンベンションセンター
	手をつなぐ育成会スポーツ祭り競技委員会	ふれあいの里
	障害者雇用事業所連絡会	国際ファミリープラザ
	安全運転管理者等講習	米子文化ホール
	鳥取県高次脳機能障害支援養成研修基礎研修	倉吉未来中心
	鳥取県社会就労センター協議会第2回施設長会	倉吉体育文化会館
	障がい者雇用企業トップセミナー	鳥取県庁
	西部自立協議員会	西部総合事務所
	鳥取県強度行動障がい支援者養成研修基礎研修	はごろもホール
9月	米子市役務説明会	米子市役所
	社会福祉法人役職員研修会	web
	ジョブコーチサポート研修	倉吉未来中心
	県民総合福祉大会	米子コンベンションセンター
	鳥取県社会就労センター協議会予算要望	鳥取県庁
	鳥取県相談支援従事者初任者研修	倉吉未来中心
	第54回中国・四国地区社会就労センター協議会職員研修鳥取大会	米子コンベンションセンター
	ICT導入に向けての視察研修	敬仁会
	手をつなぐ育成会互助会第1回運営委員会	倉吉体育文化会館
	実践SST研修	はごろもホール
	鳥取県高次脳機能障害支援養成研修実践研修	倉吉未来中心
	球技大会第3回体育部会	白壁倶楽部
10月	鳥取県強度行動障がい支援者養成研修実践研修	はごろもホール
	第62回中国地親善球技大会鳥取大会	米子産業体育館
	鳥取県障がい者虐待防止等研修分野別研修	web
	相談支援業務初任者向けフォローアップ研修	倉吉未来中心
	西部自立協福祉就労部会研修会BCP研修	西部総合事務所
	災害ボランティアセンター運営模擬訓練in境港	浜の里
	成年後見制度セミナー	ふれあいの里
	西部自立協全員協議会	ふれあいの里
11月	メンタルヘルス研修会	web
	鳥取県障がい者就労事業振興センター理事会	web
	米子市人権・同和教育研究集会	米子コンベンションセンター
	中国・四国社会就労センター協議会施設長研修会打合せ	web
	鳥取県外国人介護人材受入れ支援セミナー	web
	手をつなぐ育成会スポーツ祭り競技委員会	ふれあいの里
	第57回中国・四国社会就労センター協議会職員研修会	徳島県 サンシャイン徳島
	手をつなぐ育成会スポーツ祭り	米子産業体育館
12月	鳥取県外国人介護人材受入に関する意見交換会	web
	第57回中国・四国社会就労センター協議会施設長研修会香川大会	香川県
	メンタルヘルス研修会	web
	ジョブコーチサポート研修	倉吉未来中心
	西部自立協一般就労部会	ふれあいの里
	あいサポートとっとりフォーラム26実行委員会	米子コンベンションセンター

1月	あいサポートとっとりフォーラム26	米子コンベンションセンター
	琴の浦特別支援学校定着支援会議	しゅーと
	米子養護学校定着支援会議	しゅーと
	DWAT避難生活支援サポーター研修	鳥取県庁
	西部自立協福祉就労部会役員会	西部総合事務所
	駅前通り実証実験説明会	米子市役所
2月	手をつなぐ育成会スポーツ祭り競技実行委員会・委員会	ふれあいの里
	知福協第2回施設長会議・職員研修会	はごろもホール
	就労選択支援員養成研修	東京都
	手をつなぐ育成会互助会第2回運営委員会	倉吉体育文化会館
	アセスメント研修	しゅーと
	全国社会就労センター長研修会・全員協議会	東京都
	とっとり就労支援フォーラム	福祉人材センター
3月	サービス管理責任者等フォローアップ研修	倉吉未来中心
	あかり広場地域連携推進会議	あかり広場
	アセスメント研修	web
	就労選択支援員養成研修成果報告会	web
	鳥取県障がい者就労事業振興センター第4回理事会	web
	西部自立協一般就労部会	ふれあいの里

3. ボランティア・実習生受入実績

団体名	人数	活動内容
鳥取短期大学	1	保育実習
鳥取大学	2	ボランティア実習
境港総合技術高等学校実習	1	介護実習
米子養護学校中等部	2	体験学習
米子市立五千石小	1	体験実習
米子市立和田小	2	体験実習
介護労働安定センター	1	介護実習

4. 各種行事・視察・販売実績

月	行事	備考
8月	富益公民館納涼祭	職員（食品販売）
9月	「ほっとはあと」販売	職員（食品販売）
10月	みなとテラス販売（ボクシングイベント）	職員（食品販売）
11月	富益公民館祭	職員（食品販売）
1月	あいサポートとっとりフォーラム25	職員（食品販売）
		職員（食品販売）
※	アザレア法律事務所（随時）	弁当
3月	社会福祉法人かめの会視察	

5. 定例会議等

会議名称	実施月
管理者会議	毎月
課長会議	毎月
係長・主任会議	毎月
権利擁護委員会	毎月
リスクマネジメント委員会	毎月
感染症対策委員会	年3～5回
職員会議	毎月
障がいのある方の就労支援をすすめる会	毎月
自治会	毎月
誕生会（クリスマス会）	毎月（12月）
個別支援会議	随時
消火・避難訓練	年2回
各科往診	毎月
法人内研修	年3～5回
交通安全講習	年数回
BCP業務継続計画訓練（災害・感染症）	年3～4回

令和7年度事業報告書

支援センターのぞみ

事業実施概要

利用者が可能な限りその地域に於いて生活が継続出来ることを念頭におき、基本的動作の習得及び、集団・地域生活に適応することが出来るよう、身体・発達・年齢の状況に応じて適切かつ効果的な支援を行う

令和7年度 月別稼働日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	27	31	362	362

①生活介護（月別利用人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
延べ人数	396	373	390	401	309	371	409	351	372	351	309	371	4403	4,607
提供時間	・平日 <月曜日～金曜日 / 土曜日(開所日)> 9:00 ～ 16:00													
支援の具体的	2名の方が利用の終了された、いずれも住まいの場所が変更になったことで利用の終了。新規で利用者は1名(週1日)現在は利用日数を増やすことが出来ている。 一昨年入院をされ、利用再開は困難と当初見込まれていたが、1月から週1日で利用を再開している													

②行動援護（月別利用人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
延べ人数	96	92	95	102	84	80	103	95	94	89	86	89	1105	1,027
提供時間	・主に、平日の夕方及び土日祝祭日の余暇支援を担う													
支援の具体的	行動障害のある方の支援に対し、個々の支援の内容、環境設定など、十分な環境設定をすることに困難が多い。車を使用し外出を伴う時間も取り入れながら支援者のスキルに頼ることが多い。多様化する利用者、家族への想いに対し現在を維持することが難しい希望もある													

③居宅介護（月別利用人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
延べ人数	20	27	24	28	27	24	28	23	26	26	22	25	300	267
○居宅身体介護 ○家事援助 ○通院等介助 ○通院等乗降介助														
支援の具体的	サービス提供責任者を中心に支援を実施、その他は生活介護の支援者が兼務。居宅身体介護、通院等介助、通院等乗降介助など、在宅生活を支えるサービスとして実施													

④重度訪問介護（月別利用人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
延べ人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	10	5
支援の具体的状況	現在契約者は2名、1名の利用者に対応													

⑤地域生活支援事業（日中一時支援）（月別利用人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
延べ人数	235	227	246	252	203	230	259	206	230	225	196	245	2754	2,790
提供時間														
支援の具体的状況	平日の夕方からと土曜日に対応。金曜日のみ朝から利用をされる方あり													

⑥その他（補助金について）

鳥取県在宅重度障がい児者等支援体制強化事業補助金交付について、令和7年度米子市から542,393円、境港市から476,158円を交付。（目的は在宅で生活をする医療的ケアの要する重度障がい者や強度行動障がい者を支援を行う事業所を支援し事業者の負担を軽減を図ることで、在宅における支援体制を強化することを目的としている）のぞみは強度行動障がい者に対する支援で申請

会議・研修	
会議・研修 (事業所内/法人内)	・職員会議、各支援者会議 ・行動援護研修 ・居宅介護研修
会議・研修 (外部)	・あいサポートとっとりフォーラム ・福祉会虐待防止研修 ・強度行動障害支援者養成研修 ・県知福協施設長会議 ・県知福協代議委員会 ・中四国職員研究発表会(愛媛県)
ボランティア・実習 受入れ	・鳥取県立米子養護学校現場実習 ・鳥取短期大学 ・ ソーシャルワーク実習 ・鳥取大学医学部医学科学生
県西部自立支援協議会	在宅部会、日中活動部会、地域移行部会、権利擁護部会

行事	
のぞみ祭り	9月実施
旅行	4班に分かれ日帰り旅行を行う(倉吉:燕趙園)
親子レクリエーション	中止
誕生会	毎月開催
往診	4週間に2回 岡田内科クリニック
健康管理	一般健康診断3月実施 体重測定 毎月実施
避難訓練	6月と3月実施
救命講習	1月に実施

